

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
飯田市	鼎地区(名古屋)	令和4年3月22日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	34.8ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	29.3ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	18.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	8.8ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	5.7ha

2 対象地区の課題

<p>農業者の高齢化が進んでいく中、地域内の中心経営体も限られており、5年後の経営に関しては、現状維持の意向である農業者が多い。</p>
<p>今後の経営に関しては、後継者がいない、または後継者未定の農業者が多く、規模縮小や離農等による遊休農地の増加が懸念される。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>対象地区は市街地に近接していることから、住宅等への農地転用の需要があり、将来、農業上の土地利用と都市的な土地利用が混在することが予想されるため、地区外の農業者や新規就農者といった新たな農地の受け手が必要になると共に、農地の活用方法の検討が必要。</p>
<p>宅地等と混在する地域にある農地については、家庭菜園等としての利用も含め、遊休荒廃化させない活用方法も検討する。</p>

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営規模	経営作目	経営規模	農業を営む範囲
前認農	A	肉用牛肥育、 水稲、野菜、果樹	80頭 0.39 ha	肉用牛肥育、 水稲、野菜、果樹	80頭 0.39 ha	
前認農	B	肉用牛肥育、 水稲、果樹	20頭 0.52 ha	肉用牛肥育、 水稲、野菜、果樹	20頭 0.52 ha	
認農	C	花卉、柿、水稲	1.40 ha	花卉、柿、水稲	1.40 ha	
前認農	D	果樹、野菜、水稲	1.22 ha	果樹、野菜、水稲	1.22 ha	
認農	E	花卉、水稲	0.76 ha	花卉、水稲	0.76 ha	
前認農	F	果樹、水稲	1.60 ha	果樹、水稲	1.60 ha	
認農	G	肉用牛肥育、 水稲、野菜	57頭 1.10 ha	肉用牛肥育、 水稲、野菜	57頭 1.10 ha	
認農	H	果樹	2.25 ha	果樹	2.25 ha	
認農	I	花卉、花木	0.85 ha	花卉、花木	0.85 ha	
認農	J	市田柿の生産、加工	8.38 ha	市田柿の生産、加工	8.38 ha	

認農	K	花卉、花木	0.32 ha	花卉、花木	0.32 ha	
前認農	L	水稻、果樹、野菜	1.00 ha	水稻、果樹、野菜	1.00 ha	
前認農	M	野菜、果樹、水稻	0.55 ha	野菜、果樹、水稻	0.72 ha	
認農	N	果樹	0.65 ha	果樹	0.95 ha	
認農	O	果樹	2.80 ha	果樹	4.30 ha	
認農	P	花卉	0.21 ha	花卉	0.21 ha	
	Q	果樹、水稻	1.10 ha	果樹、水稻	1.10 ha	
	R	野菜、水稻	0.50 ha	野菜、水稻	0.50 ha	
	S	果樹、野菜、水稻	1.22 ha	果樹、野菜、水稻	1.22 ha	
	T	肉用牛肥育、 水稻、野菜	17頭 1.10 ha	肉用牛肥育、 水稻、野菜	17頭 1.10 ha	
	U	果樹、野菜、水稻	0.46 ha	果樹、野菜、水稻	0.46 ha	
認農	V	きのこ、水稻	1.00 ha	きのこ、水稻	1.00 ha	
	W	野菜	0.40 ha	野菜	0.40 ha	
認農	X	野菜	0.09 ha	野菜	0.20 ha	
認農	Y	果樹	1.48 ha	果樹	1.48 ha	
認新農	Z	野菜	0.09 ha	野菜	0.20 ha	
認農	AA	果樹、野菜	4.77 ha	果樹、野菜	4.77 ha	
認農	AB	野菜	3.38 ha	野菜	3.38 ha	
認農	AC	肉用牛	7.00 ha	肉用牛	10.50 ha	
	AD	野菜	0.59 ha	野菜	0.59 ha	
認新農	AE	果樹	0.24 ha	果樹	0.24 ha	
計	31経営体		47.42 ha		53.11 ha	